第一問　次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

※著作権の関係により、本文は掲載しておりません。

※著作権の関係により、本文は掲載しておりません。

※著作権の関係により、本文は掲載しておりません。

（松浦 壮 「量子とはなんだろう」）

問一 傍線A・E・F・H・Iに用いるべき漢字を、次の選択肢①～⑤のうちからそれぞれ一つ選べ。

A ダン|ショウ
① 暖 ② 弾 ③ 段 ④ 談 ⑤ 断
解答番号 1

E ドウ|リ
① 道 ② 同 ③ 洞 ④ 動 ⑤ 導
解答番号 2

F コン|カン
① 感 ② 幹 ③ 間 ④ 管 ⑤ 観
解答番号 3

H ク|シ
① 句 ② 躯 ③ 区 ④ 駆 ⑤ 苦
解答番号 4

I アイ|マイ
① 舞 ② 埋 ③ 毎 ④ 枚 ⑤ 昧
解答番号 5

問二 空欄Bに入れるのに最も適当なものを、次の選択肢①～⑤のうちから一つ選べ。
解答番号 6

① 現代物理学こそが世界の核心である
② 私たちが見ている世界こそが世界そのものである
③ 見えている世界は世界そのものではない
④ この世界のすべては量子が支配している
⑤ 今見ているこの世界が、本当に世界そのものなのかどうかを問うたところで意味はない

問三　空欄Cに入れるのに最も適当なものを、次の選択肢①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号 7

① 本そのもの
② 脳の中だけに存在するミクロ世界
③ 現実そのもの
④ 妄想の生み出した世界
⑤ 仮想現実

問四　傍線D「私たちは最初から『世界そのもの』など見てはいません」の説明として最も適当なものを、次の選択肢①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号 8

① 五感の捉える情報は常に正確であるとはいえないため、脳が作り出した想像図と現実そのものとの間には矛盾が生じてしまう、ということ。
② 脳が作り出した想像図にリアリティを感じるのは、単に五感を通じて得られた情報のどれとも矛盾しないからに過ぎず、実際は現実などというものは存在しない、ということ。
③ 視覚が捉えた情報と、触覚、聴覚、嗅覚によって捉えられた情報との間には、常に矛盾が存在する、ということ。
④ 私たちが見ていると思っている世界は、五感によって捉えられ電気信号に変換された情報をもとに、脳で構築された像にすぎない、ということ。
⑤ 「見ている」とは言っても、実際には触覚、聴覚、嗅覚によって捉えられた情報もすべて合わせて矛盾のないように構築されたのが、私たちが認識している世界である、ということ。

問五　空欄Gに入れるのに最も適当なものを、次の選択肢①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号 9

① 量子の世界で何が起こっているかは誰にもわからない
② 量子の世界では「存在すること」と「見えること」は同じではあり得ない
③ 量子は私たちが見ても見なくても常に同じ場所に存在している
④ 量子は本質的な意味で場所が定まっていないため、私たちは見ることができない
⑤ 量子は私たちが目を向けることでいつでもありのままの姿を見せてくれる

問六　傍線J「量子力学は正しいのかもしれないけど、そんなややこしい事情はミクロな世界だけの話でしょう？　僕たちが普段見ているのはマクロな世界なんだから、関係ないじゃないか」という主張に対する筆者の考えとして最も適当なものを、次の選択肢①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号 10

① この世界は量子を前提にして成立しているため、量子を専門とする物理学者としてこのような無関心な態度を許すわけにはいかない。

② 量子はずっと昔から私たちの目の前に姿を見せていた、身近な存在であるため、もっと気軽に量子の世界に親しんでほしい。

③ 今私たちが目にしている風景は量子を前提にして成り立っているため、量子をミクロの視点から捉えることはできず、マクロの視点から捉え直す必要がある。

④ この世界は量子を前提にして成立しているため、世界について知るためにはさまざまな困難にもかかわらず量子について理解する必要がある。

⑤ 直感的な理解を寄せつけず、計算のために高度な数学が必要である量子は一般人の理解を超えているため、専門家と一般人との間に溝が生じても無理はない。

問七　空欄Kに入れるのに最も適当なものを、次の選択肢①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号 11

① 二者択一　② 一期一会　③ 一蓮托生　④ 二律背反　⑤ 表裏一体

第二問　次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

※著作権の関係により、本文は掲載しておりません。

※著作権の関係により、本文は掲載しておりません。

※著作権の関係により、本文は掲載しておりません。

（玄田 有史 「希望のつくり方」）

問一　空欄Aに入れるのに最も適当なものを、次の選択肢①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号 1

① 満ち足りた気分
② 失敗を恐れない気持ち
③ 過去の失敗から得た学び
④ 現状に満足しない気持ち
⑤ 現実離れした妄想

問二　空欄B・F・G・I・Kに入れるのに最も適当なものを、次の選択肢①～⑤のうちからそれぞれ一つ選べ。ただし、同じ選択肢を重ねて用いてはならない。

解答番号 B＝ 2 、F＝ 3 、G＝ 4 、I＝ 5 、K＝ 6

① ただ
② もしくは
③ にもかかわらず
④ では
⑤ さらには

問三　傍線C「希望と夢の最も大きなちがい」の説明として最も適当なものを、次の選択肢①～⑤のうちから一つ選べ。　解答番号 7

① 夢は無意識のうちに生まれるが、希望は意識があるときに自然と心に沸き起こるものである。

② 夢は現状をもっと良くしようという肯定的な気持ちから生まれるのに対し、希望は困難な状況における絶望的な気持ちである。

③ 夢は無意識のうちに見たり、現状に飽き足らない気持ちから生まれるのに対し、希望は困難な現状の中で、未来へ目を向けようとする意識から生まれる。

④ 夢はどんなときにも生じうるが、希望は困難な状況以外に生じることは絶対にありえない。

⑤ 夢は実現を目指し努力するものだが、希望は最初から実現しないことを知っている状態で持つものである。

問四　空欄Dに入れるのに最も適当なものを、次の選択肢①～⑤のうちから一つ選べ。　解答番号 8

① 地域復興の夢
② あらたな社会問題
③ 行政主体のまちづくり
④ 市民による積極的な抗議運動
⑤ 地域の再生の光

問五　空欄Eに入れるのに最も適当なものを、次の選択肢①～⑤のうちから一つ選べ。　解答番号 9

① 未来へ向けて希望をつなぐこと
② 共同して何か行動すること
③ 危機に対して慎重に備えること
④ 激しく議論を戦わせること
⑤ 過去の過ちを振り返り反省すること

問六　傍線H「幸福と希望のあいだには、どんなちがいがあるのでしょうか」に対する筆者の答えとして最も適当なものを、次の選択肢①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号 10

① 希望は過酷な現状を良い方向に変化させたいと望むものであるのに対し、幸福は現状を可能な限り長く維持したいと望むものである。

② 幸福はすべてが満ち足りた状態であるのに対し、希望は現状を否定しようとする不幸な状態である。

③ 幸福は永遠に続くことなど絶対にありえないが、希望は未来へと託していくことで半永久的に継続していくことができる。

④ 幸福は一人で維持するが、希望は同じ変化を希望する人たちと協力していくことで実現する。

⑤ 幸福は人生で喜びを得るために必要不可欠なものだが、希望は必ずしも必要ない。

問七　空欄Jに入れるのに最も適当なものを、次の選択肢①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号 11

① 現在の幸福を手放すこと

② 苦しい現実にあらがうことなく耐えること

③ まずは現状に満足し幸福を得ること

④ きびしい現実に目を向けないこと

⑤ きびしい現実から目を背けないこと